皿沼小学校校長室通信　第１７号　　令和３年６月２４日

みずくらいど

校長　加藤雅弘

自主学習、どんなふうにやってる？

その日の宿題の計算ドリルが２０問あったら、最後の２問だけにしたことがあるよ。その日の授業ではぜんぶできたから。その代わりに、理科で学習した虫のことをたくさんしらべたよ。

私は授業の時、むずかしかったから、ドリルの最初の５問だけにして、何度もやり方をたしかめながら時間をかけてやったよ。そうしたら、やりかたがよく分かったんだ。

ぼくは、作文がにがてだから、宿題とはかんけいなく、毎日、作文をかいているよ。そうしたら、だんだん書き方が分かってきて、書くのもたのしくなってきたよ。

私は、自主学習を宿題とは全く別のものと考えなくてもよいと思っています。計算ドリルの場合、上記のように「自分の学習の状況」によって、何を、どれだけやるかを考えることが大切です。家庭学習では知識や技能の定着だけを図っているわけではありません。これまでも申し上げてきましたが、「主体的に学習に取り組む態度」の中に「自己の学習を調整する側面」という力が示されています。自分の学習の状況について「どこまで分かっていて、どこから分からないのか」をメタ認知すれば、それに応じた課題をやることが最も効率的です。今すぐにはできなくても、取り組んでいるうちに、だんだんできるようになります。そして、自分で考えた課題をやる方が、楽しく定着の仕方も確実です。夏休みに向けて、少しずつでも取り組んでほしいと思っています。

夏休みの課題もできるだけその方向で考えていただきたいです。しかし、保護者の方には不安に思われる面もあることと存じます。自分で見つけられない場合、学校で用意した課題を選ぶこともできます。低学年でも可能なお子さんはチャレンジしてください。

６月３０日発行の学校だよりでは、読書や様々な体験の大切さについても触れています。臨時保護者で、夏休みをどのように過ごしてほしいか、サマースクールなども含めて説明いたします。質問やご意見ご感想などがある場合以下にお書きの上、６月中に提出ください。

自主学習や夏休みの過ごし方について　　（　　年　　組）（　　）